

## 「大崎システム」～住民・企業・行政、みんなが主体のゴミ処理システム（鹿児島県大崎町）

### 取組概要

- ・鹿児島県大崎町は、埋立処分場の残余年数が少なくなったことに対し、財政負担の大きい焼却炉や新たな埋立処分場の建設ではなく、課題を共有し、住民・企業・行政一体となった27品目に及ぶ徹底した分別を行い、80%を超える資源化、埋立ゴミの減量化に成功しました。
- ・新たなコストが発生せず、雇用が生まれ、収益が発生するというウィンウィンの究極のゴミ処理手法である「大崎システム」を紹介します。

### 取組の効果

- 埋立処分場の延命化
- 財政的な効果大
- 資源ゴミ売買益金を活用した奨学制度
- 雇用機会の創出
- 平成18年度から28年度まで、11年連続資源リサイクル率日本一を継続中
- 日本一効果は「ふるさと納税」へも波及
- 「日本一」そして「世界」へ
- 住民の誇り、企業・行政の自信へ

### 創意・工夫した点

- 行政と住民の課題の共有
- 行政の押し付けでない住民主導による活動
- モデル自治会を研修先として活用
- マスコミを活用し、住民のプライドを醸成
- 分別品目は慣らしながら少しずつ拡大
- 民間企業のノウハウ・資金で低コスト

### 他団体へのアドバイス

- ・ゴミ処理に係るコストの増加、焼却炉や埋立処分場の寿命を課題としている自治体は少なくないと思われます。
- ・「大崎システム」は、ゴミ処理問題という、一般的には行政の問題とされがちな課題を、住民が自らの課題として共有し、協働で解決する手法です。
- ・行政が抱えている課題を、明らかにすることを恥じず、オープンにし、一緒に解決する仲間（住民）作りをおすすめします。

人口 13,419 人 (H30.1.1現在)

担当 住民環境課



資源ゴミの集団回収  
(住民主体の立会いが行われている)

